

学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成27年6月17日(水) 11:00～11:45

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス事務局棟4階)

発 表 事 項

1. 就職決定状況(平成26年度最終)について
2. 地域で活躍する学生サークル紹介 ～山形大学JCC～
3. 平成27年度YUCOE(山形大学先端的研究拠点)が決定しました
＜拠点事例紹介＞
 - (1) ライフ・3Dプリンタ創成センター 古川英光 教授
 - (2) おいしい山形を届けるパッケージ材料研究拠点 東原知哉 准教授
4. 大地連携ワークショップ in ニューヨーク について

お 知 ら せ

1. 平成28年度山形大学入学者選抜要項を公表します
2. 山形大学男女共同参画フェスタ(6月22日～7月3日)について
3. 公開講演「新しい世界史とグローバルヒストリー」について
4. 農学部で「農場市」がスタートします！

(参 考)

○ 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：平成27年7月7日(火)11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス事務局棟4階)

平成27年6月17日
山形大学

就職決定状況（平成26年度最終）について

平成26年度卒業・修了者の就職状況の最終結果がまとまりましたのでご報告します。

【概要】

学部就職率 98.1%（前年比1.4ポイント増）

（文部科学省発表「大学等卒業予定者の就職内定状況調査」による4月1日現在の暫定率

：国公立大学の就職率97.7% 前年比1.0ポイント増）

大学院就職率 99.0%（前年比0.6ポイント増）

これは景気の回復を背景に、全国的に求人数が増加したことから、学生の選択肢が広がり、就職率の上昇に繋がったと考えています。

【就職支援の取組み】

本学では「学生が主役の大学として、入学前から、在学中はもちろんのこと、就職や卒業後までを一貫してサポートする総合的な学生支援を充実」することを目指しており、就職支援はその重要な取組みの一つです。

具体的には、本学卒業生が要職に就いている企業に対して本学役員によるトップセールスを実施し、その結果を就職情報として学生に提供するとともに、就職活動支援夜行バスの実施やキャリアカウンセラーによる個別指導を行うなど、学生一人ひとりのニーズに応じたきめ細かな就職支援を実施しています。

また、企業幹部を講師に招聘しての基盤教育科目の開講や企業訪問バスツアー、業界研究会を実施するなど、本学と連携する県内企業と協働して、学生の社会人力を高めるための入学当初からのキャリア教育にも力を入れております。

今後ともこれら支援を充実し、就職を希望する本学学生全員が卒業後の希望を叶えられるよう取り組んでまいりたいと考えております。

（お問合せ先）

小白川キャンパス事務部就職支援室

電話：023-628-4145

平成26年度卒業者の就職状況調《学部》

平成27年4月1日現在

区分		学部															
		人文学部		地域教育文化学部		理学部		医学部		工学部				農学部		合計	
		26年度	25年度	26年度	25年度	26年度	25年度	26年度	25年度	昼間・Aコース		フレックス・Bコース		26年度	25年度	26年度	25年度
卒業生数 a	男	146	149	80	69	132	131	102	78	500	493	38	50	94	80	1,092	1,050
	女	162	188	169	164	44	57	83	77	81	85	3	9	70	80	612	660
	合計	308	337	249	233	176	188	185	155	581	578	41	59	164	160	1,704	1,710
就職希望者数 b	男	125	132	58	50	58	56	5	3	222	217	23	21	57	51	548	530
	女	147	175	134	135	24	34	53	44	35	37	3	3	60	59	456	487
	合計	272	307	192	185	82	90	58	47	257	254	26	24	117	110	1,004	1,017
臨床研修医数 c	男	/	/	/	/	/	/	91	71	/	/	/	/	/	/	91	71
	女	/	/	/	/	/	/	23	21	/	/	/	/	/	/	23	21
	合計	/	/	/	/	/	/	114	92	/	/	/	/	/	/	114	92
進学数 d	男	6	6	9	10	67	64	1	2	252	250	14	24	31	25	380	381
	女	5	6	20	13	14	21	4	9	41	42	0	6	9	15	93	112
	合計	11	12	29	23	81	85	5	11	293	292	14	30	40	40	473	493
その他 訳	男	15	11	13	9	7	11	5	2	26	26	1	5	6	4	73	68
	女	10	7	15	16	6	2	3	3	5	6	0	0	1	6	40	40
	合計	25	18	28	25	13	13	8	5	31	32	1	5	7	10	113	108
就職決定者数 e	男	120	127	57	49	58	55	4	3	218	211	23	19	57	51	537	515
	女	144	167	131	127	23	33	53	44	35	37	3	3	59	57	448	468
	合計	264	294	188	176	81	88	57	47	253	248	26	22	116	108	985	983
就職希望者における就職率 e/b*100	男	96.0%	96.2%	98.3%	98.0%	100.0%	98.2%	80.0%	100.0%	98.2%	97.2%	100.0%	90.5%	100.0%	100.0%	98.0%	97.2%
	女	98.0%	95.4%	97.8%	94.1%	95.8%	97.1%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	98.3%	96.6%	98.2%	96.1%
	合計	97.1%	95.8%	97.9%	95.1%	98.8%	97.8%	98.3%	100.0%	98.4%	97.6%	100.0%	91.7%	99.1%	98.2%	98.1%	96.7%

備考 1 各学部欄の右段は、前年同期の状況を示す。

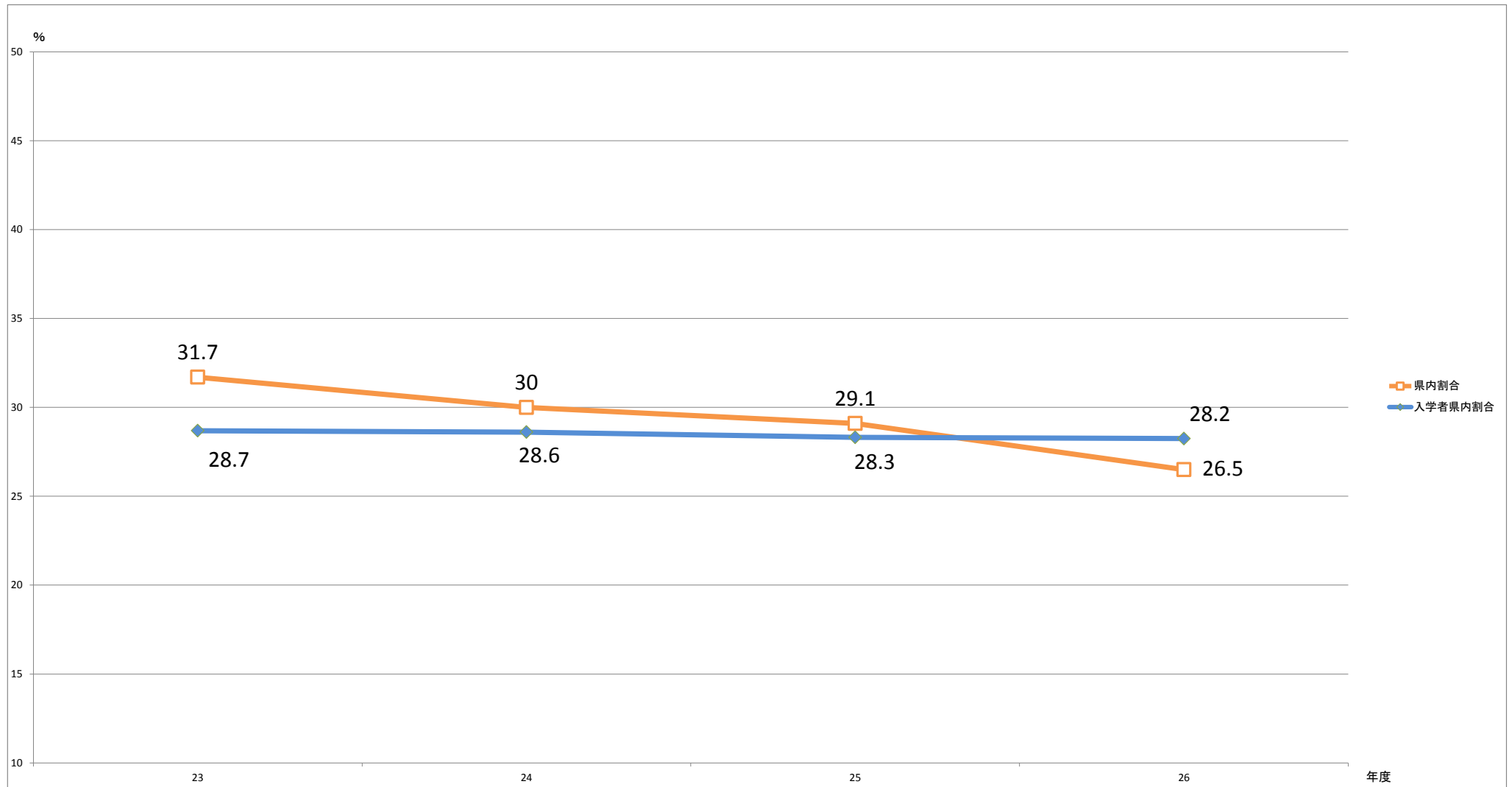
平成26年度修了者の就職状況調《大学院・養護教諭特別別科》

平成27年4月1日現在

区 分		大 学 院																養護教諭 特別別科	
		社会文化システム 研究科		地域教育文化 研究科		教育実践研究科		理工学研究科 (理学系)		医学系研究科		理工学研究科 (工学系)		農学研究科		合 計			
		26年度	25年度	26年度	25年度	26年度	25年度	26年度	25年度	26年度	25年度	26年度	25年度	26年度	25年度	26年度	25年度		
修了者数 a	男	7	5	4	3	12	17	41	46	26	27	258	287	21	20	369	405	2	1
	女	4	6	9	11	9	6	20	17	18	21	26	23	10	11	96	95	32	35
	合計	11	11	13	14	21	23	61	63	44	48	284	310	31	31	465	500	34	36
内 就職希望者数 b	男	3	5	1	2	5	8	39	35	25	25	239	265	16	14	328	354	1	1
	女	4	3	5	6	3	4	18	14	16	18	21	20	8	6	75	71	27	33
	合計	7	8	6	8	8	12	57	49	41	43	260	285	24	20	403	425	28	34
内 進学者数 c	男	1	0	0	0	0	0	1	6	1	0	4	16	2	1	9	23	0	0
	女	0	1	0	0	0	0	1	0	1	1	2	3	0	1	4	6	0	0
	合計	1	1	0	0	0	0	2	6	2	1	6	19	2	2	13	29	0	0
内 そ の 他	男	3	0	3	1	7	9	1	5	0	2	15	6	3	5	32	28	1	0
	女	0	2	4	5	6	2	1	3	1	2	3	0	2	4	17	18	5	2
	合計	3	2	7	6	13	11	2	8	1	4	18	6	5	9	49	46	6	2
就職決定者数 d	男	3	5	1	2	5	8	37	34	25	25	239	260	16	14	326	348	1	1
	女	3	2	4	6	3	4	18	14	16	18	21	20	8	6	73	70	26	33
	合計	6	7	5	8	8	12	55	48	41	43	260	280	24	20	399	418	27	34
就職希望者における 就職率 d/b*100	男	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	94.9%	97.1%	100.0%	100.0%	100.0%	98.1%	100.0%	100.0%	99.4%	98.3%	100.0%	100.0%
	女	75.0%	66.7%	80.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	97.3%	98.6%	96.3%	100.0%
	合計	85.7%	87.5%	83.3%	100.0%	100.0%	100.0%	96.5%	98.0%	100.0%	100.0%	100.0%	98.2%	100.0%	100.0%	99.0%	98.4%	96.4%	100.0%

- 備 考 1 各学部欄の右段は、前年同期の状況を示す。
 2 教育実践研究科における現職教員は、「その他」の欄に含める。

県内就職者の推移



※ 入学者県内割合は、当該年度の卒業生が入学した年度の割合を示す。

平成27年6月17日

山形大学

地域で活躍する学生サークル紹介 ～山形大学JCC～

「地域創生」をビジョンの1つとする山形大学では、学生サークルが地域で様々な活躍をしています。今回は、「山形大学JCC（ジェーシーシー）」をご紹介します。

【山形大学JCCとは？】

山形大学JCCは、学生のかや、発想力、行動力をもとに、社会に貢献できる事を目指す学生ボランティアサークルです。

主な活動は、山形青年会議所の事業（山形大花火大会など）や山形県の事業（モンテロードの花植え、日本一の芋煮フェス、気仙沼さんま祭り、山形まるごとマラソン大会）などに参加しています。

設立：平成20年2月

部員数：145名（平成27年4月30日現在）

代表：石崎 滉さん（第8代代表、地域教育文化学部3年）



写真は左から
モンテロードの花植え、
山形大花火大会の支援、
街頭募金活動

（お問合せ先）

小白川キャンパス事務部学生課

学生企画・課外活動担当

電話 023-628-4121

平成 27 年度 YU-COE（山形大学先端的研究拠点）が決定

山形大学では、国際的に通用する高い水準にある研究拠点や、研究成果が社会、地域に大きく貢献する研究拠点を重点的に支援するとともに、将来、そのような拠点となり得る研究グループを発掘し、育成することを目的として、独自に YU-COE（山形大学先端的研究拠点）形成支援を行っています。

平成 27 年度は、（S）に 4 件（継続 4 件）、（E）5 件（継続 5 件）及び（C）（継続 7 件＋新規 3 件）の研究グループへの支援を決定しました（拠点一覧は別紙のとおり）。

【YU-COEの概要】

○拠点形成の目的

研究者の自由な発想において行われる研究の重要性を認識し、あらゆる分野の研究者がその能力を十分に発揮できる研究環境の整備に努める一方で、地域に根ざし世界をリードする大学として、国際的に通用する高い水準にあると認められる研究拠点については、重点的に支援するとともに、将来、そのような拠点となり得る学内の研究グループを発掘し、育成する。

○拠点の内容

研究グループを、次の 3 つのカテゴリーに分類し、支援する。

◇「YU-COE（S）」 [S=Super]

大型の競争的研究資金を獲得するなど、外部からすでに拠点として認められている研究グループである「分子疫学、有機エレクトロニクス、総合スピ科学、山形大学ナスカ研究所」の 4 拠点。

◇「YU-COE（E）」 [E=Exploratory]

将来、国内外の先進的研究拠点となる可能性を有すると認められる研究グループ。

◇「YU-COE（C）」 [C=Collaboration]

複数学部の共同研究体制の下で分野横断型の研究を行い、将来、国内外の先進的研究拠点となる可能性を有すると認められる研究グループ

（お問い合わせ）

企画部研究支援課 沼澤・高橋

電話：023-628-4845

平成27年度 YU-COE形成支援拠点一覧

平成 27 年 6 月 1 日
YU-COE 推進本部 決定

『YU-COE(S)』

研究拠点		整理番号	拠点リーダー 職・氏名		新規・継続	備考
1	総合スピ科学	S21-1	教授	岩田 高広	継続	
2	分子疫学	S21-2	プロジェクト教員 (特任教授)	嘉山 孝正	継続	
3	有機エレクトロニクス	S21-3	教授	飯塚 博	継続	
4	山形大学ナスカ研究所	S25-1	教授	坂井 正人	継続	
合 計		4拠点				

『YU-COE(E)』

研究拠点		整理番号	拠点リーダー 職・氏名		新規・継続	備考
1	分子標的抗癌剤による薬剤性肺障害研究拠点	E25-1	教授	久保田 功	継続	
2	次世代バイオマス分子資源開発センター	E25-2	教授	西岡 昭博	継続	
3	ライフ・3Dプリンタ創成センター Life-3D Printing Innovation Center (略称 LPIC; エルピック)	E25-3	教授	古川 英光	継続	
4	次世代自動車用プラスチック素材加工研究拠点	E26-1	教授	伊藤 浩志	継続	
5	有機ICTシステム研究拠点 ～ヘルスケア/ライフケアシステムの実現に向けて	E26-2	准教授	横山 道央	継続	
合 計		5拠点				

『YU-COE(C)』

研究拠点		整理番号	拠点リーダー 職・氏名		新規・継続	備考
1	環境低負荷型グリーンポリマーの開発	C26-1	准教授	大谷 典正	継続	
2	先進的ライフサイエンス・イメージング研究拠点	C26-2	准教授	奥野 貴士	継続	
3	ゲノム編集技術を使った新規研究モデル動物のリソース化拠点の形成	C26-3	准教授	越智 陽城	継続	
4	新規の素材を用いた膵胆道ステントの開発拠点	C26-4	教授	上野 義之	継続	
5	放射光で切り拓く次世代地域創生研究拠点	C26-5	准教授	松葉 豪	継続	
6	新原理に基づく革新的有機太陽電池研究拠点	C26-6	准教授	中山 健一	継続	
7	人口減少社会適合型野生動物管理システム創成拠点	C26-7	准教授	江成 広斗	継続	
8	地域価値創成に貢献するUniversity Entrepreneurship研究拠点	C27-1	准教授	山口 昌樹	新規	
9	予測医療を目指した医用画像・生体測定情報データ解析の研究拠点	C27-2	准教授	川崎 良	新規	
10	おいしい山形を届けるパッケージ材料研究拠点	C27-3	准教授	東原 知哉	新規	
合 計		10拠点				

平成27年6月17日

山形大学

YuFab(ユーファブ)構想発表!

3Dプリンターで注目される山形県にたくさんのファブスペース開設を進めます

山形大学ライフ・3Dプリンタ創成センター(略称:LPIC)^{エルピック}の古川英光教授、川上勝准教授らのグループは、2014年8月に日本初の「駅ファブ」を開設して非常に注目されています。この取り組みを進展させるために山形県内にたくさんのファブスペースを開設するYuFab構想^{ユーファブ}の取り組み(社会実験)を進めます。最初の「YuFab会議」は7月11日(土)に駅ファブ(米沢駅2階多目的室)にて開催する予定です。

【概要】

1) 山形大学ライフ・3Dプリンタ創成センター(略称:LPIC)はYU-COE(山形大学先進的研究拠点)に平成25年度に採択され、今年で3年目を迎えました。この間、複数の研究プロジェクトが採択、推進されています。

2) 今年2月には古川英光教授が参加する課題「感性とデジタル製造を直結し、生活者の創造性を拡張するファブ地球社会創造拠点」が文部科学省・科学技術振興機構による「革新的イノベーション創出プログラム(センター・オブ・イノベーション COI STREAM)に採択されました。これは明治大学が中核機関となりCOI-T(トリアル)拠点として平成25年度より活動していた「感性に基づく個別化循環型社会の創造」の成果が認められたものです。(3月5日の学長記者会見にて公表済み)

3) LPICは研究活動の一環として3Dプリンターの地方普及に取り組んで参りました。「駅ファブ」はその取り組みを象徴するものづくりのためのスペース(ファブスペース)で、昨年の山形DCに合わせて8月30日に米沢駅駅舎2Fに開設しました。駅舎内のファブスペースは日本初の試みであり、非常に注目されています。駅ファブを含めたCOI-Tの取り組みは2014年度グッドデザイン賞にも選ばれています。

4) 今回、LPICでは「駅ファブ」のようなファブスペースを県内のさまざまなシーンに展開しようとする「YuFab(ユーファブ)」構想の発案に至りました。

ファブスペースは、駅舎だけでなく、公民館や図書館、使われていない校舎、店舗、家屋、蔵など、さまざまな場所・シーンに設置することができます。初期に必要な費用は「3Dプリンター」(市販品なら1台約10万円)と「レーザーカッター」(1台約40万円)などの購入費用が主であり、およそ30万円から70万円ぐらいの費用での開設が可能です。

ファブスペースの運営には、3Dプリンターやレーザーカッターの使い方に慣れたスタッフの協力が必要ですが、その人材には市民や学生のボランティアを募ることで対応したいと考えています。

先行する「駅ファブ」では市民や学生の利用は無料で運営しており、そのノウハウを展開します。

5) 山形大学LPICでは、今後、YuFab構想に関心のある市町村・教育界・産業界・市民の参加や支援を募り、県内へのファブスペースの開設に向けて取り組みを進めて参ります。YuFab構想を実現するための最初の「YuFab会議」を7月11日(土)に駅ファブにて開催する予定です。

(参考) 米国ではオバマ大統領が2010年に1000の学校に3Dプリンター導入を進めました。最近では、4月にイギリス企業Kitronk社が5000校のイギリスの小学校に3Dプリンター導入を開始、中国は40万の小学校に3Dプリンターを配備する計画を発表しています。




【駅ファブ】 URL: <http://ekifab.com/> Facebook: <https://www.facebook.com/ekifab>

一日約5000人が利用する米沢駅の2階の多目的室に、「3Dプリンター」「レーザーカッター」を中心にした誰もが簡単に使える最新の加工マシンを揃えた新ものづくり空間「駅ファブ」を2014年8月30日開設した。駅ファブは、山形大学工学部ライフ・3Dプリンタ創成センター(LPIC)が米沢市の協力を得て、市民や小中高、博物館、児童館などとの連携を図り、子供から大人までいろいろな人達の自由なアイデアで新しいものづくりを体験・実践・習得できる場となっている。現在、毎週土曜日10:00～17:00に運営中(活動状況については別紙を参照)。8月1日(土)には「ひらめき☆ときめきサイエンス」を実施予定。



2014年8月30日(土)オープン!

日本初! **駅ファブ!**
駅舎内ものづくりスペース



3Dプリンターとレーザーカッター 米沢駅 オープンスペース

山形での「ものづくり革命」を加速する!

【やまがたメイカーズネットワーク YMN】 URL: <http://www.y-makers.net/>

2014年1月に始まった手作りの3Dプリンターを県内の工業高校に導入する取り組み。先週6月9日(火)に経済産業省が公表した「ものづくり白書2015」(p.269)においてもYMNの活動が紹介されました。

【熱中小学校プロジェクト】 URL: <http://www.necchu-shogakkou.com/>

廃校を利用した地方創生プロジェクト。LPICは熱中小学校理科室を3Dプリンターのファブスペースにする取り組みを進めている。ここは駅ファブに次ぐ第二のファブスペースになる。

【米沢いただきます研究会】 URL: http://y-sansoukyo.jp/yonezawa_itadakimasu.html

LPICが協力して進めている3Dプリンター技術を活用した食の創生プロジェクト。2014年4月にスタートし、今年2年目。昨年開発した「3D恋鯉ゼリー」は2015年2月に東京ビックサイトで開催された「国際ホテル・レストランショー」に出展した。3Dプリンターやファブスペースを活用した商品開発の例である。

【YuFab(ユーファブ)構想】 URL: <https://www.facebook.com/yufabinfo>

山形大学LPICが支援し、県内へのオープンなファブスペース開設を進める構想。Yuは「あなた」「誰でも参加できる」という意味と「山形大学」の意味を掛けたもの。Fabは「ものを作る(Fabrication)」「すばらしい(Fabulous)」の意味を掛けたもの。

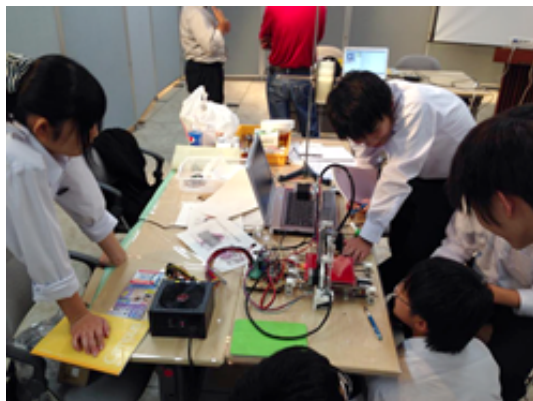


(お問い合わせ)
山形大学 ライフ・3Dプリンタ創成センター長 教授
古川英光 電話:0238-26-3197
E-mail: furukawa@yz.yamagata-u.ac.jp
URL: <https://www.facebook.com/lpicbook>

【教育機関との連携の例】

1) 米沢興譲館高校 3Dプリンタ組み立て講習会

(主催: YMN、教育委員会)



組立てた3Dプリンターは高校に持帰り、学習に活用

■ 駅ファブは、場所の提供と工具などの貸出で協力

2) 米沢第一中学での出前授業(技術科)

3Dプリンタの使い方、造形のコツ、近い将来の3Dプリンタについて講義し、造形の実演をした。

【子ども向けイベントの開催の例】

米沢市中部地区文化祭に出張

3Dプリンタによるアクセサリ自作体験

クリスマスイベント

オーナメント、ストラップ作り



東京タワー タワチカにて出張駅ファブ

3Dプリンタを使ったお菓子作り



【市民向け講習会の実施】

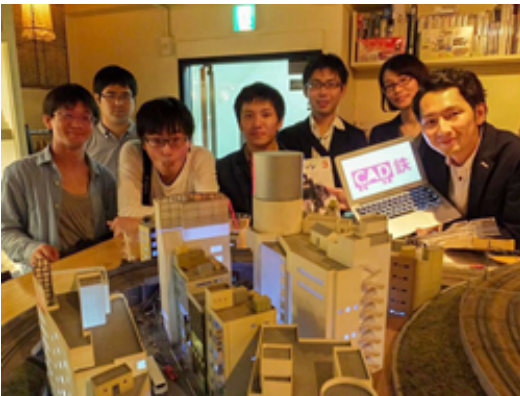
3D CAD講習会 レーザーカッター講習会

フリーの3D CADソフトウェアのインストールから簡単なモデリングを指導。山大生有志が積極的に参加している。



【他のファブ施設との連携】

東京中野の3Dプリンタ屋が主催する「CAD鉄」イベントをネットで接続し、コラボした。



中野の3Dプリンタ屋に参画している模型会社ミライスに作成してもらった3Dプリンタ製米沢駅舎模型を駅内に展示している。

【博物館との連携】

上杉博物館と合同イベントを開催。戦国時代の合戦の地形を3Dプリンタで作製。学芸員によるセミナーを行った。

古戦場の3D地形と歴史絵図等の展示



会場の様子



上杉博物館の学芸員・佐藤氏によるセミナー



会場の3Dプリンタによる兜のミニチュア模型の3Dプリント体験



小・中・高校生のためのプログラム

ひらめき☆ ときめき サイエンス

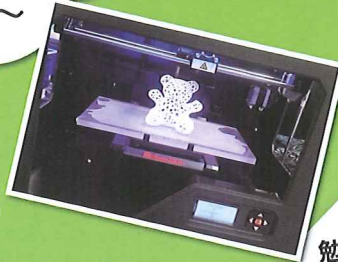
～ようこそ大学の研究室へ～

**参加費
無料**

ひらとき 検索
事業の詳細内容はHPから
ご覧ください

開催日

2015
8/1 土



「3Dプリンタ」とは どんなものか、知っていますか？

3Dプリンタは、「縦」、「横」、「高さ」の3つの方向に材料を出したり、回めたりして形を作ることから3Dプリンタと呼ばれています。3Dプリンタを使えば、思いついたものをすぐに作るすることができます。雑貨や食器、おもちゃ、アクセサリなどいろいろなものが作られています。

学校では勉強できないことを来てくれたみんなに教えちゃうよ♪

山形大学 大学院理工学研究所

古川 英光 教授



対象

中学生(20名)

申込締切

2015年7月19日(日)

※先着順になります。お早めにお申込みください。

集合場所・時間

10:00までに
駅ファブ(米沢駅2階多目的室)にお集まりください。

スケジュール

- 10:00～10:15… 受付、開場(米沢駅2階「駅ファブ」集合)
- 10:15～10:30… 開講式(挨拶、オリエンテーション)
- 10:30～11:00… 講義①「CAD講習会～ゼリーお菓子の型のデザイン～」
- 11:00～11:40… 実験①「3Dプリンタで型をつくろう」
- 11:50～12:30… 実験①「3Dプリンタで型をつくろう」
- 12:30～13:00… 昼食
- 13:00～13:45… 実験②「ゼリーお菓子を作ろう」
- 13:45～14:15… ディスカッション
- 14:15～15:00… 実験②「ゼリーお菓子を作ろう」
- 15:00～15:30… ゼリーお菓子の品評会
- 15:30～16:00… 修了式(未来博士号授与・アンケート記入)

アクセスマップ



参加お申込み方法

▶ ホームページから申し込む場合

https://www.jsps.go.jp/hirameki/06_sanka.html
※「(I) Webから申し込む場合」の手順に沿って、申込をして下さい。



▶ Eメールで申し込む場合

koupjshien@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
※参加申し込み書の内容を送信
タイトルに「ひらとき参加希望(3Dプリンタ)」とお書き下さい。

▶ FAXで申し込む場合

FAX:0238-26-3401
※下記の参加申込書を送付して下さい。

参加申込書(3Dプリンタ)	氏名	ふりがな		生年月日	平成	.	.	生	性別	<input type="checkbox"/> 男・ <input type="checkbox"/> 女
	住所	〒		電話番号	()			-
	学校名		学年	年	ご家族・学校関係者の見学の有無			<input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無		
	E-mail				保護者の同意(必須)			<input type="checkbox"/> 同意有り		

※傷害保険加入の為、生年月日は必ずご記入ください。 ※該当する□に✓を記入してください。 ※ご記入いただいた個人情報は本件でのみ使用し、他には一切使用いたしません。

参加決定者には後日通知いたします

お申込み・お問合わせ先：山形大学工学部 研究支援課研究支援担当

TEL:0238-26-3004 FAX:0238-26-3401 E-mail : koupjshien@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

米沢いただきます研究会



米沢いただきます研究会では、地域“食材”から3Dゲルプリンターを活用した「オーダーメイド食」の開発に取り組んでいます。高齢者福祉施設での介護食、観光客向けの料理、地域食文化の伝承など幅広い分野での活用を目指しています。開発された「オーダーメイド食」は国際ホテル・レストランショーなどの国際展示会に出展します。是非、ご参加ください！

米沢の食材

×

米沢らしい形

×

3Dプリンタや
レーザーカッター

日時

第一回 6/29(月)

第二回 7/27(月)

第三回 8/24(月)

第四回 9/7(月)

第五回 9/28(月)

第六回 10/5(月)

全 6 回
シリーズ

16:00～18:00 開催 (開催時間は全回共通です)

会場

第一回 山形大学工学部 1号館講義室



【講師】

山形大学大学院理工学研究科教授

古川 英光 氏

東京都出身。東京工業大学大学院理工学研究科博士課程修了。東京工業大、東京農業大、北海道大を経て、平成21年4月に山形大学に兼任。「3Dゲルプリンター」の開発で注目を集める。

ご参加お待ちしております

第一回の内容

昨年度の活動報告

グループディスカッション

古川教授による最新テクノロジーの紹介

(新食品のアイデア出し)

お問い合わせ先

山形大学工学部 古川英光研究室 (担当:小玉) TEL:0238-26-3218

主催:米沢新産業創出協議会 TEL:0238-28-8810

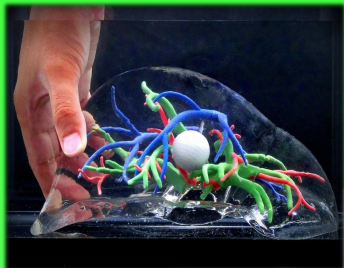
<http://www.y-sansoukyo.jp>

facebook

<https://www.facebook.com/echefcom>

テストユーザー募集中!

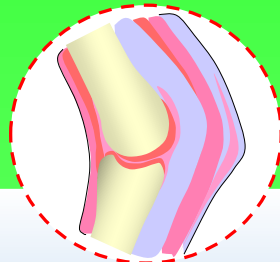
世界初！ゲルの三次元自由造形！



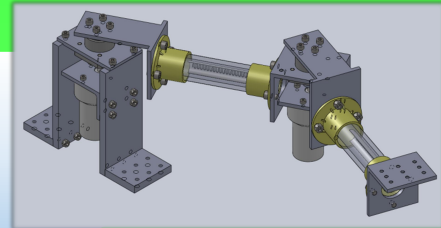
ゲル臓器モデル



ゲル人工血管



ゲル関節軟骨



ゲルソフトアクチュエーター

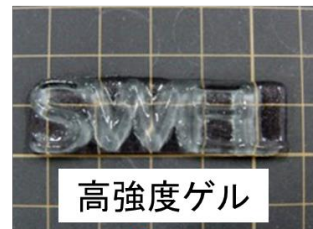
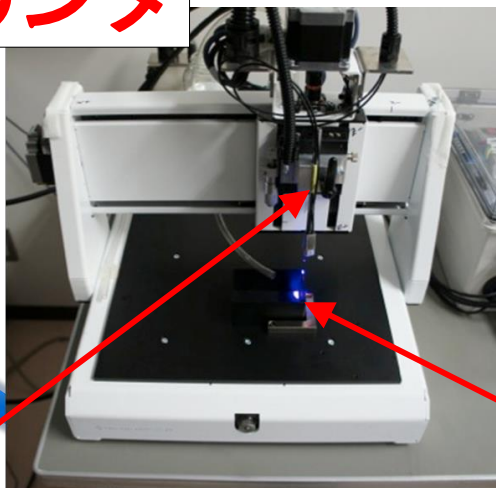
3Dゲルプリンタ



3D-CADデータ

高強度ゲルの自由造形、精密加工が可能な世界初の3Dプリンタ

光ファイバー

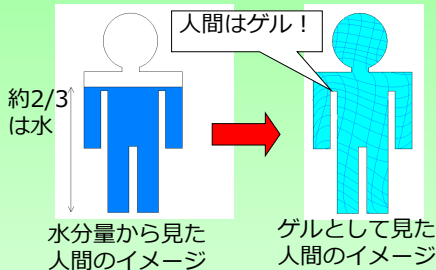


高強度ゲル

バスタブ

革新的ブレークスルー技術！

なぜゲルか？

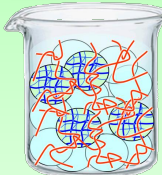


生体軟組織は、水分を50~80%も含んでいる
ゲル である

※ゴムではない。インプラントにゲルは必須

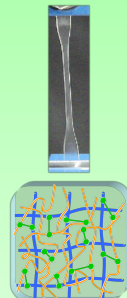
様々なゲル材料

P-DNゲル
(パーティクル
ダブルネットワークゲル)



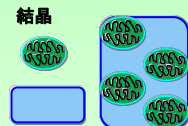
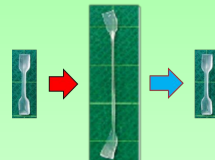
固い高分子ゲル粒子を柔軟な線状高分子で結びつけて高強度化する。

ICNゲル
(相互架橋網目ゲル)



それぞれ異なる高分子間でのみ架橋する網目組織を有するため、高い延性と含水率を発現する。

SMG
(形状記憶ゲル)



変形したものが、きっかけによって回復し、記憶していた元の形状に戻る。



SIP (戦略的イノベーション創造プログラム) 革新的設計生産技術
「デザイナブルゲルの革新的3Dプリンティングシステムによる新分野の進展支援と新市場創出」

平成27年6月17日
山形大学

YU-COE（山形大学先進的研究拠点）平成27年度採択 おいしい山形を届けるパッケージ材料創成研究拠点

Total Assistance for Seasonal Foods Transportation from Yamagata (TASTY)

平成27年度にYU-COE（C）に採択された「おいしい山形を届けるパッケージ材料創成研究拠点（TASTY）」について、目的、活動計画、技術・人的拠点形成への構想概念図等を紹介します。

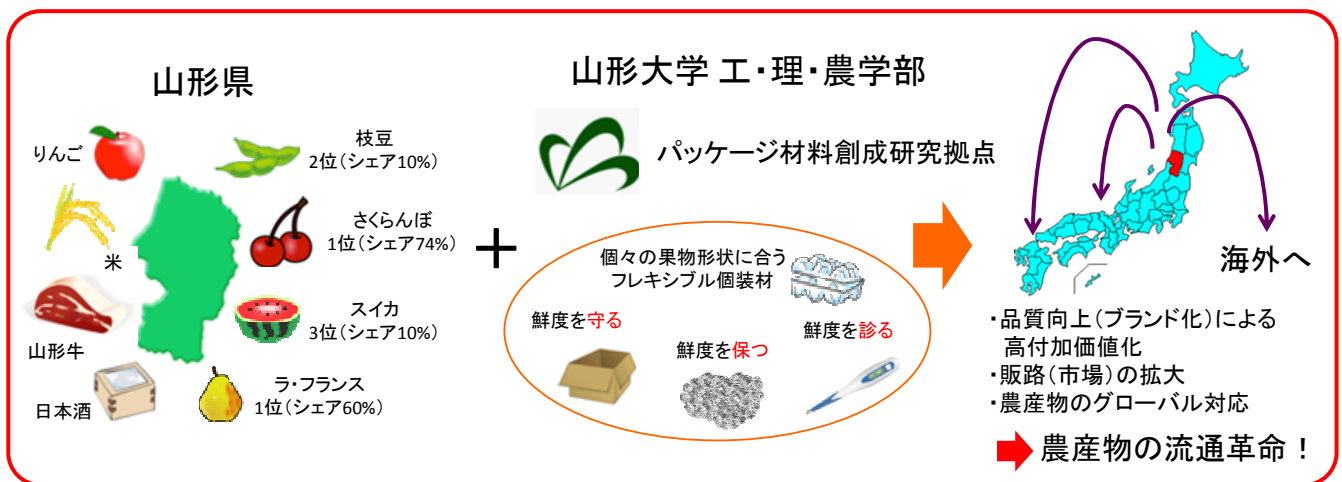
1. 目的

山形県はその地の利を活かした農産物生産や食品出荷が盛んである。中でも人気の高いラ・フランスやさくらんぼ、スイカなどのフルーツの生産量は、国内で高いシェアを占める。農産物、特に採れたて鮮度の重要なフルーツは、輸送の際の鮮度保持の難しさによる地域限定・時期限定の大きな壁により、大規模輸出が困難である。本拠点では、有機材料システムにおける世界屈指の研究設備環境と博士一貫教育プログラム（山形大学フロンティア有機材料システム創成フレックス大学院（iFront））の人材ソーシングを活用しつつ、さらに学部間横断的な研究交流を通じ、付加価値の高い農産物・食品・医薬品等の鮮度を守る・保つ・診る新機能パッケージ技術の拠点を形成する。

2. 活動計画

工学部・理学部の高分子合成、高分子物理、バイオ、材料化学、ゲル、3Dプリンタ、シミュレーション等を専門とする若手研究者が結集し、(1)衝撃から守り、気体透過量を調節できる機能性高分子フィルム・パッケージ、(2)鮮度を保つ機能性ゲル素材、(3)鮮度を診断する見える化センサー、の3つのカテゴリーに分けて協同で研究を推進する。H27年度には、公式ホームページ開設、理学部・農学部との連携強化、若手間交流・勉強会、研究室訪問、国際的シンポジウム共催等を予定している。将来的には、例えば、山形のさくらんぼを海外へ鮮度を保持したまま輸出できる総合的な鮮度持続システムを創成し、山形の特産品のグローバル化の実現に繋がる研究拠点の構築を目指す。また、拠点形成に関わる研究・教育を通じ、高分子材料工学、バイオ工学、理学、農学等の技術融合への連携システム整備と高度人材育成にも力を入れる。

3. 技術・人的拠点形成への構想概念図



連続的イノベーションの錬金工房

工・理・農学部の若手教員のシーズ

- ・高分子科学
- ・分子センサー
- ・3Dプリンター
- ・計算機シミュレーション
- ・コロイド・界面化学
- ・バイオ etc...

軽フットワークな若手教員 による交流促進

フレックス大学院

フレックス大学院の国際性、多専門性の活用
実践力の育成

教育プログラム教員との連携

本YU-COE(C)拠点 = Melting Pot

新たな異分野融合研究

学部間交流による
新しい学内協同研究の形成促進

学術研究への波及効果

教育への波及効果

拠点成果

おいしい山形を届けるパッケージ

山形の魅力を世界発信

技術融合の現場体験

未来のイノベーター育成

(お問合せ先)

学術研究院
工学担当・東原知哉
電話 内線3845

平成27年6月17日
山形大学

文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」採択事業“つばさ”プロジェクトにおいて

大地連携ワークショップinニューヨーク

「都市文化を探れー世界的大都市ニューヨークに迫るー」を開催します！！

米国ニューヨーク州にあるモンロー大学と連携し、学生がワークショップによりニューヨークという世界的大都市の文化を学び、米国の社会問題である貧困等、地域が抱える課題の発見・探求を通してグローバル社会で生き抜くための国際性を身につけます。

■ 活動内容・スケジュール

開催日：8月8日（土）～8月16日（日）

活動内容：スープキッチンプロジェクト、フードバンク、インタビュー、学童保育
（サービス・ラーニング）

参加者：学生10名（山形大学5名、日本女子大学2名、東京造形大学1名、羽陽学園短期大学2名）、引率教員5名

■ 大地連携ワークショップとは

文部科学省の平成24年度「大学間連携共同教育推進事業」に採択されたプロジェクト「東日本広域の大学間連携による教育の質保証・向上システムの構築」（通称：“つばさ”プロジェクト）の中の教育プログラムで、北海道、東北、関東の大学・短期大学（19機関）が連携して活動しています。

今年度は、大地連携ワークショップとして、北海道釧路市阿寒町（8月25日～28日）、山形県最上町（8月20日～23日）、神奈川県相模原市（8月4日～7日）、米国ニューヨーク（8月8日～16日）の4カ所で開催します。

■ 大地連携ワークショップinニューヨークの目的

海外や提携校との連携において大地連携ワークショップを開催することで、海外の学生、大学関係者、市民等との交流を図り、学生及び教職員がグローバルな知見を獲得することを目的としています。

（お問合せ先）
教務課教育企画担当
電話023-628-4720

平成27年6月17日
山形大学

*詳細は別添の資料をご覧ください。

1. 平成28年度山形大学入学者選抜要項を公表します

平成28年度山形大学入学者選抜要項を公表します。詳細は別紙をご覧ください。

2. 山形大学男女共同参画フェスタ（6月22日～7月3日）について

（概要）

◇パネル展（6/22-7/3）

山形大学インフォメーションセンター・理学部1号館東側

◇図書展（常設）

小白川図書館

◇男女共同参画セミナー

「コンフリクトへの応答—医療メディケーション概念への誘い—」

講師：中西淑美 なかにしとしみ 准教授（山形大学医学部総合医学教育センター）

日時：7月1日（水）15:30-17:00

会場：小白川キャンパス 事務局棟第2会議室

飯田キャンパス 第2会議室

米沢キャンパス 講義棟3階会議室

鶴岡キャンパス TV会議室

対象：学生、教職員、一般市民 30名程度

詳細は別紙チラシをご覧ください。

3. 公開講演「新しい世界史とグローバルヒストリー」について

講師：はねだ まさし 羽田 正 東京大学東洋文化研究所・教授

日時：2015年6月20日（土）13時30分より

会場：山形大学人文学部1号館301教室

詳細は別紙チラシをご覧ください。

4. 農学部で「農場市」がスタートします！

6月25日（木）より、本学部の学生・職員が農学部附属やまがたフィールド科学センターで丹精込めて生産した農産物や農産加工品の販売を行います。教職員・学生をはじめ付近住民の方々にも毎年好評をいただいている「農場市」。今年も多くの皆様のお越しをお待ちしています。

詳細は別紙をご覧ください。

以上

平成27年6月17日
山形大学

平成28年度山形大学入学者選抜要項を公表します

平成28年度山形大学入学者選抜要項を公表します。入学定員（1,685人）は、昨年度と変更はありませんが、主な変更点については次のとおりです。

1 募集人員の変更

(1) 学部における選抜試験ごとの募集人員の変更

地域教育文化学部地域教育文化学科児童教育コース

後期日程 1人増（昨年度 12人 → 13人）

推薦入試 I 1人減（昨年度 13人 → 12人）

(2) 大学全体における選抜試験ごとの募集人員の変更

後期日程 1人増（昨年度 209人 → 210人）

推薦入試 I 1人減（昨年度 257人 → 256人）

2 入学者選抜実施教科・科目等の主な変更点

- 個別学力検査等において、学習指導要領の改訂に伴い、「国語」及び「英語」の科目名が変更となりました。
- 大学入試センター試験において、平成28年度大学入試センター試験から出題しないこととした数学の「工業数理基礎」については、平成28年度大学入試センター試験に限り、旧教育課程履修者の出題科目として出題することとなりました。ついては、「工業数理基礎」の経過措置を講ずる、工学部及び農学部について、留意事項を記載しました。
- 地域教育文化学部地域教育文化学科児童教育コース
前期日程（個別学力検査等）に「外国語」を追加し、配点は200点とします。
- 工学部（昼間コース・フレックスコース）
前期日程（大学入試センター試験配点）
機能高分子工学科・物質化学工学科・応用生命システム工学科・情報科学科・電気電子工学科・機械システム工学科・システム創成工学科
「国語」200点 → 100点
「数学」200点 → 300点
「理科」200点 → 300点
「外国語」250点 → 200点

バイオ化学工学科
「理科」200点 → 300点
「外国語」250点 → 200点

前期日程（個別学力検査配点）

応用生命システム工学科

「数 学」600点 → 400点

後期日程（大学入試センター試験配点）

機能高分子工学科・物質化学工学科・バイオ化学工学科・情報科学科・電気電子工学科・機械システム工学科

「外国語」250点 → 200点

○ 農学部

前期日程（個別学力検査配点）

「数 学」*200点 → *300点

「理 科」*200点 → *300点

○ 出願要件の変更

地域教育文化学部地域教育文化学科児童教育コース

推薦入試Ⅰ（学校長が推薦できる人数）

変更前：1校につき3人以内

↓

変更後：「(2)次の①又は②のいずれかに該当し、…

① 調査書の全体の評定平均値が4.0以上に属するもので、人物及び学力ともに優秀な者。…1校につき1人とします。

② 調査書の平均値が3.5以上に属する者で、人物及び学力ともに優秀で、数学及び理科について、数学Ⅲ、物理、化学、生物及び地学（理数科にあっては、理数数学Ⅱ、理数物理、理数科学、理数生物及び理数地学）の科目の中から2科目以上を履修した者又は履修見込みの者。…1校につき2人以内とします。」

3 私費外国人留学生入試について

私費外国人留学生入試の概要を英文で記載したページを追加しました。

4 入学者選抜要項の請求方法について

山形大学のホームページ（パソコン、スマートフォン、携帯電話）から請求してください。

（お問い合わせ先）

インフォメーション・マネジメント部入試課

前田・豊田

電話 023(628)4141

男女共同参画フェスタ

6月22日～7月3日

パネル展 6/22 (月) ～7/3 (金)

(山形大学インフォメーションセンター・理学部1号館東側)

「山形大学の男女共同参画の取り組み」

「平成26年度男女共同参画に係るアンケート結果」

「メディアウォッチ」

図書展 (常設)

(山形大学小白川図書館)

又エック (国立女性教育会館) 所蔵の「ジェンダー」「生き方」「人間関係」等をテーマとした約200冊の書籍と、小白川キャンパス図書館所蔵の関連図書600冊を特設コーナーに展示しています。

(又エック所蔵図書については学内者のみの貸出)

男女共同参画セミナー

「コンフリクトへの応答

—医療メデイエーション概念への誘い—

講師 中西淑美准教授 (山形大学医学部総合医学教育センター)

7月1日 (水) 15:30～17:00

会場：小白川キャンパス 事務局棟第2会議室 (4階)

他キャンパスはテレビ会議室

飯田：第2会議室、米沢：講義棟3階会議室

鶴岡：TV会議室

対象：学生、教職員、一般市民 30名程度

* **要申込み** (先着順になります)

参加無料

お問い合わせ

山形大学男女共同参画推進室

電話：023-628-4937 / 4938 / 4939

E-mail：y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

たくさんの方のご来場をお待ちしています。

コンフリクトへの応答

—医療メディエーション概念への^{いざない}誘い—

日常的に発生するコンフリクト(葛藤・対立・諍い・紛争)に対して、協調的に応答して関係の質を高めていこうとする概念が「医療メディエーション」です。多様化する社会において、価値観の異なる人々と協働していくために、前向きにコンフリクトに対処していくための考えかたをご紹介します。

日時 7月 1日 (水) 15:30~17:00

場所 事務局棟 4階 第2会議室 (小白川キャンパス)
他キャンパスはTV会議室 飯田:第2会議室、
米沢:講義棟3階会議室
鶴岡:TV会議室

講師 中西 淑美 准教授

(山形大学医学部総合医学教育センター)

対象 学生、教職員、一般市民 (30名程度・先着順)



申込み/お問い合わせ

山形大学男女共同参画推進室

電話 023-628-4937/4938/4939

FAX 023-628-4014

メール y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

山形大学歴史・地理・人類学研究会 第17回大会

日時 2015年 6月20日(土) 13時30分より
会場 山形大学人文学部1号館 301教室

公開講演 13:30~15:00

新しい世界史とグローバルヒストリー 講師 羽田 正 (東京大学東洋文化研究所・教授)



研究発表 15:10~17:10

- 『女房官品』の基礎的考察—女房の呼称と地位—
山形大学大学院社会文化システム研究科院生 那須 寛之
- 仏教学者常磐大定(1870-1945)の中国調査
山形大学講師・東北大学大学院専門研究員 渡辺 健哉
- 律令官人制の展開と受容—陸奥・出羽に関する基礎的考察—
山形大学人文学部准教授 十川 陽一

問い合わせ先

〒990-8560 山形市小白川町1-4-12 山形大学人文学部内
山形大学歴史・地理・人類学研究会 TEL 023-628-4239

平成27年6月17日
山形大学

農学部で「農場市」がスタートします！

6月25日（木）より、本学部の学生・職員が農学部附属やまがたフィールド科学センターで丹精込めて生産した農産物や農産加工品の販売を行います。教職員・学生をはじめ付近住民の方々にも毎年好評をいただいている「農場市」。今年も多くの皆様のお越しをお待ちしています。

【販売物】

完熟トマト、だだちゃ豆、在来野菜、リンゴといった生の農産物の他、農場産のリンゴやブルーベリーを加工して作られたジュースやジャム、学生が実習で栽培した米など、多彩な品目を販売しております。



【販売日時・場所】

*日時：平成27年6月25日（木）～ 毎週木曜日
12:00～13:00
（なくなり次第終了とさせていただきます）

*場所：山形大学農学部キャンパス内
（旧国道7号線沿いの特設会場）



農学部附属施設担当
電話 0235 (24) 2278